



2020年3月10日

国内初、世界で5店舗目の手話が共通言語になるスターバックス“サイニング ストア”を2020年夏にオープン

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社〔本社所在地：東京都品川区、代表取締役最高責任者(GEO)：水口貴文〕は、国内初、世界では5店舗目となる聴覚に障がいのあるパートナー(従業員)を中心に手話を主なコミュニケーションツールとして使用し運営する“サイニング ストア”を2020年夏に東京・国立市にオープンすることを発表いたします。聴者と聴覚に障がいのあるパートナーが共に働き、多様な人々が自分らしく過ごし活躍できる居場所の実現を目指した、スターバックスのダイバーシティ&インクルージョンを象徴する店舗の一つになります。国立市付近にはろう学校があり、ろう文化に関して理解のある地域であると考えたため、この度の出店決定に至りました。



■「NO FILTER」の実現に向けて

スターバックスは、これまでもスターバックスの価値観の一つである「お互いに心から認め合い、誰もが自分の居場所と感ぜられるような文化」を大切にしてきました。その文化を日々店舗で体現するパートナーはブランドの中心であり、基盤でもあります。スターバックスは、お客様、地域社会、そしてパートナーがお互いを尊重し、高め合える、人を大切にする活力あるブランドでありたいと考えています。2018年からはダイバーシティ&インクルージョンのテーマとして「NO FILTER」を掲げ、「先入観や思い込み、偏見を持たず、人種、年齢、性別、役割や雇用形態、障がいの有無、個人の価値観などの違いを超えてすべての人を温かく迎え入れ、認め合い、そして一人ひとりが自分らしくいられる社会」の実現を目指しています。

◆スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 <https://www.starbucks.co.jp/>

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社は、1996年に東京・銀座に日本第1号店を開業。現在、全世界80か国で30,000店舗以上、日本全国47都道府県において1,530店舗(2019年12月末時点、ライセンス店舗を含む)のコーヒーストアを展開しております。「人々の心を豊かで活力あるものにするために— ひとりのお客様、一杯のコーヒー、そしてひとつのコミュニティから」をミッションに掲げ、約4万人のパートナー(従業員)が一杯のコーヒーを通じて人と人がつながり、心あたたまるひとときを提供しております。2019年2月28日には、世界5拠点目となる「スターバックス リザーブ® ロースタリー 東京」をオープンしました。

お客様からのお問い合わせ先
0120-336-388

※間違い電話が多くなっておりますのでお気を付けください
(9:00-19:00 年中無休 ※3月12日(木)より10:00-18:00、国際電話、IP電話からは03-5745-5890)